

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-151(P2006-151A)
 【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報2006-001
 【出願番号】特願2004-176626(P2004-176626)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月11日(2007.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周囲に複数の識別情報が付された回転体と、
 前記回転体を回転させる駆動手段と、
 前記駆動手段を駆動制御する駆動制御手段と、
 定速回転状態にある前記回転体の回転位置を検出可能な回転位置検出手段とを備え、
 少なくとも前記駆動制御手段が、前記回転位置検出手段による検出結果に基づき、前記駆動手段の停止制御を行い、前記回転体を所定位置に停止させることができるように構成された遊技機であって、

前記回転体と一緒に回転しあつ所定検出位置を通過するよう設けられた第1被検出部及び第2被検出部からなる一組の被検出部と、

前記所定検出位置を通過する前記各被検出部を検出して検出信号を出力する検出手段とを備え、

前記回転位置検出手段が、前記検出手段からの検出信号に基づき、前記回転体の回転位置を検出できるよう構成され、

さらに、前記回転体を当該回転体の回転軸を中心に所定角度 $360^\circ / 2n$ (n は 2 以上の自然数) の等角度間隔に区分けした $2n$ 個のエリアのうち、所定の基準位置より m 番目 (m は 1 以上の自然数) のエリア内において前記第1被検出部を配置し、 $m + n$ 番目のエリア内において前記第2被検出部を配置したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記各被検出部は、前記所定検出位置を先に通過する始端部から後に通過する終端部までの長さが、前記所定角度 $360^\circ / 2n$ の 2 分の 1 以上の角度に対応した長さである角度 $360^\circ / 4n$ 以上の角度に対応した長さを有していることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第1被検出部及び前記第2被検出部は、前記所定検出位置を先に通過するそれぞれの始端部の位置、又は、前記所定検出位置を後に通過するそれぞれの終端部の位置が、前記回転体の回転方向に対して 180° 間隔となるように配置されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記第1被検出部及び前記第2被検出部をk組（kは2以上の自然数）備え、
nをkの倍数としたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項5】

前記各被検出部は、それぞれ隣りの被検出部が配置されるエリアのn/k個隣りのエリアに配置されていることを特徴とする請求項4に記載の遊技機。

【請求項6】

前記回転体の回転方向に対して、前記各被検出部の始端部又は前記各被検出部の終端部の位置が等角度間隔となるように前記k組の第1被検出部及び第2被検出部が配置されていることを特徴とする請求項4又は5に記載の遊技機。